

道内初のラフィングジブ 仕様クローラークレーン

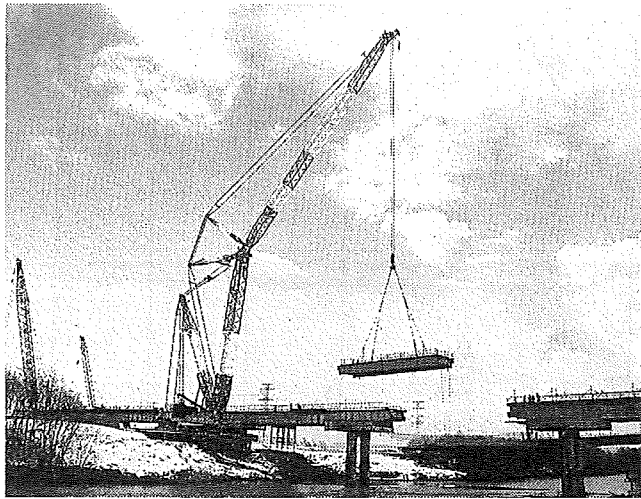
宮坂らⅣ 旧清幌橋の解体現場

【岩見沢】札幌建設管
理部発注の栗沢南幌線交
付金13改築を施工する宮
坂建設工業・山田組・豊
松吉工業共同は、南幌
町内の同現場に日立住友
重機械建機クレーン製の
クローラークレーン「6
000SLX」を導入し、
旧清幌橋の解体作業を進
めている。6000SL
Xにラフィングジブを取
り付けて使うのは道内で
は本現場が初めてで、6

50t級のつり上げ仕様
としている。
同現場では、十分な作
業半径を確保するため、
長さ60tのラフィングジ
ブをクローラークレーン
に取り付け、旧清幌橋の
上部床版4ブロックのう
ちの2ブロックを今月24
日に撤去した。
クローラークレーン6
000SLXは、分解・
組み立て・輸送性能の高
さが特徴のトータルバラ

ンスに優れた大型クレー
ン。幅広いブーム構成に
より、作業環境に応じた
ブームセッティングが可
能で大型機に必要な高揚
程、重量作業をはじめ、
低高度での懐の深い作業
をこなす。

旧清幌橋(橋長529



床版撤去作業中の旧清幌
橋解体現場

.....
は、幅員6・5t)は、
2002年度から南幌町
内の道道栗沢南幌線で架
け換えを進め、09年度に
新橋(橋長692t、幅
員12t)が完成している。